ウォーター質問書概要 2018

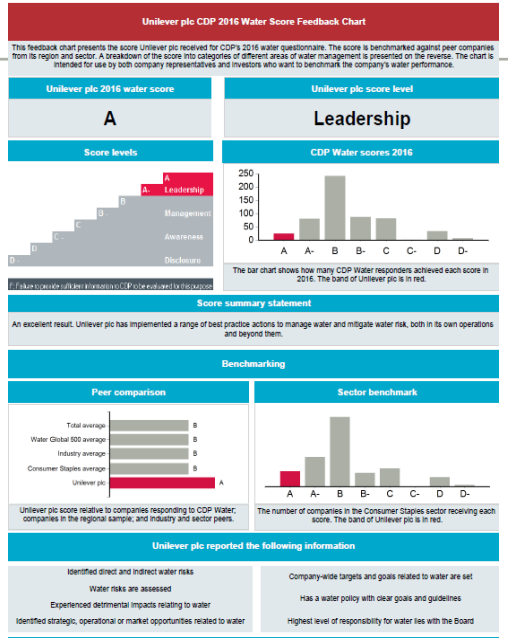
CDP事務局

2018/4月

DISCLOSURE INSIGHT ACTION

ウォーター質問書の歩み

- 2010 – プログラム開始
- 2014 – CEO ウォーターマンデートガイドラインと整合する内容に修正
  日本企業への送付開始
- 2018 – モジュール、セクション、設問レベルでの見直しを実施
  今年の国内対象企業は310社
  （署名投資家は656社、運用資産総額87兆米ドル相当）



回答のメリット

投資家とのコミュニケーション

水リスクに対処するための積極的なアプローチを投資家に向け実証

ステークホルダーとのコミュニケーション

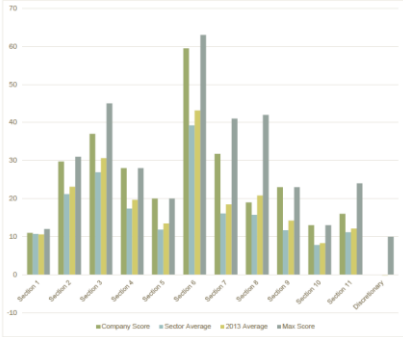
透明性の向上とコミュニケーションの促進

リスクマネジメント

サプライチェーンにおけるレジリエンスの向上

ベンチマーキング

自社のパフォーマンスや進捗を業界他社と比較



ビジネス機会

ウォータースチュワードシップの改善による機会の創出

パフォーマンス改善

内部目標とベンチマークの基礎を築き、水管理活動を強化

個別に情報開示する負担を削減

スタンダード化された統一システムでの情報開示で、個別ステークホルダー毎への回答負担を抑制

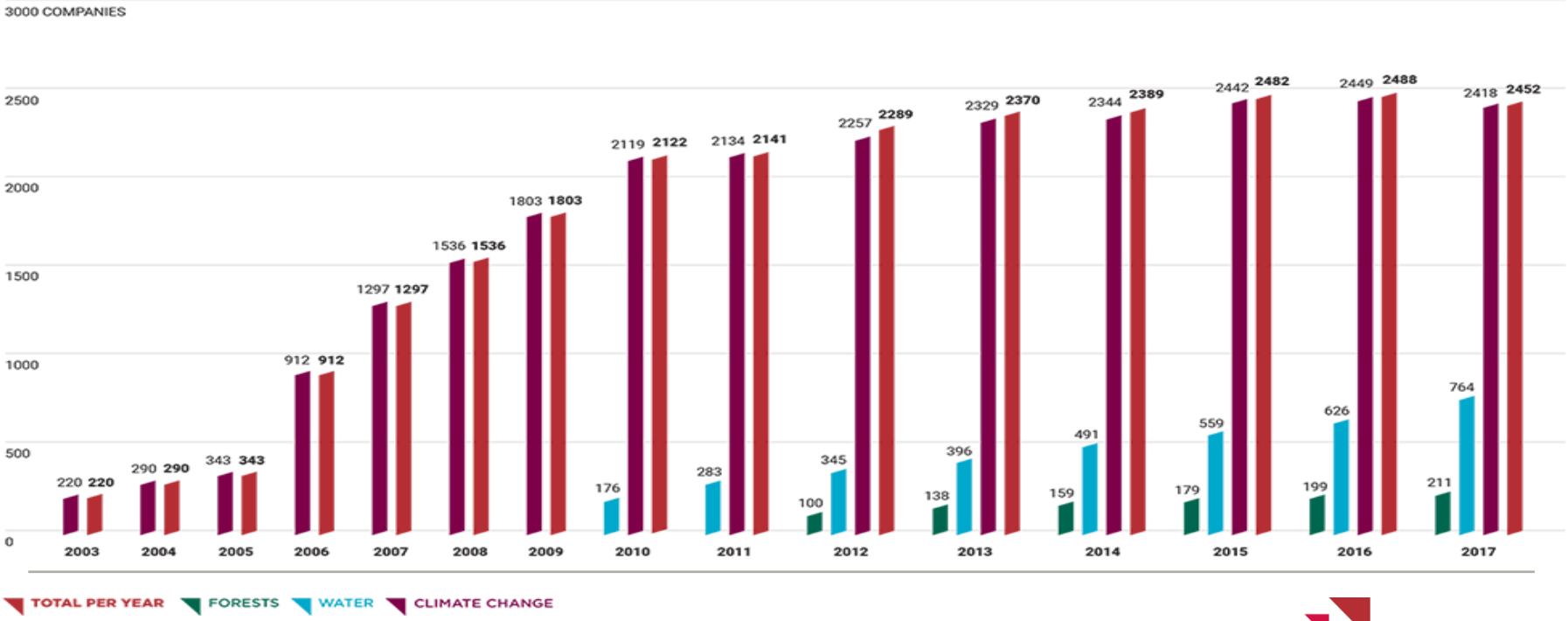
CDPの情報公開フレームワークは企業におけるSDGsの取り組みにも寄与

- SDGs 6の推進に貢献
  - 機会の特定
  - 目標の策定
  - 進捗の確認
  - 成功事例の確認

目標6（水）：全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

回答率推移

GROWTH IN DISCLOSING COMPANIES SINCE 2003



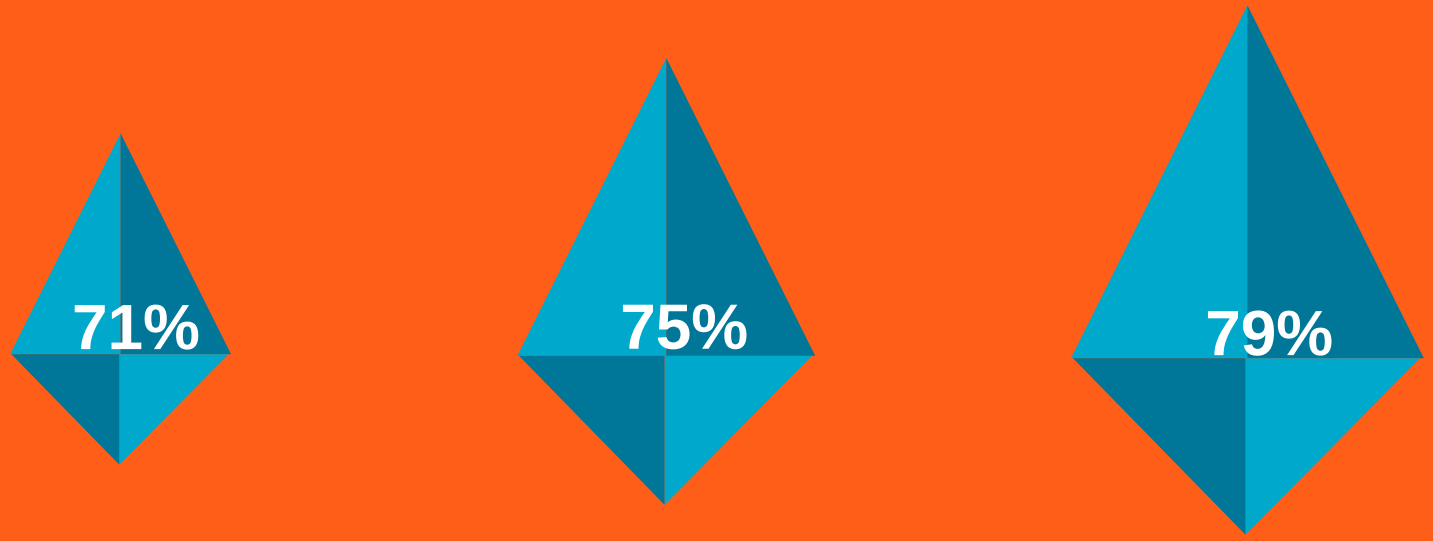
Notes

Figures [illegible] programme do not include 'See another' (SA) companies (i.e. subsidiary companies whose response is [illegible] their parent company's response)
Figures for 'Total discosing companies' are unique (i.e. companies responding to multiple programmes are counted only once)

CDP
DISCLOSURE INSIGHT ACTION

継続的な回答が企業の水管理能力を向上

#定期的に水使用量の測定とモニタリングを実施すると回答した企業の割合



初回回答　2回目回答　3回目回答

継続的な回答が企業の水管理能力を向上

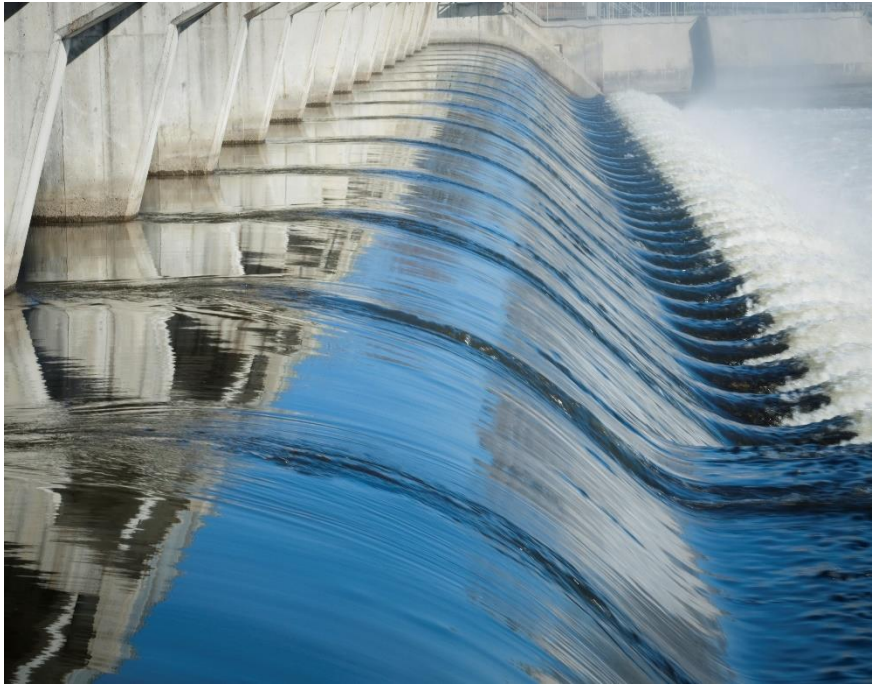
#水問題について取締役レベルの監督があると回答する企業割合

継続的な回答が企業の水管理能力を向上

#全社レベルの水に関する目標（Target）と目的（Goal）を設定する企業割合

初回回答　　2回目回答　　3回目回答

ウォーター質問書
（一般セクター）概要



セクター分類

クラスター	気候変動	水	森林
エネルギー	電力事業 石炭 石油・ガス	電力事業（EU） 石油・ガス（OG）	
輸送	輸送機器製造 輸送サービス		
素材	セメント 鉄鋼 金属・鉱業 化学	金属・鉱業（MM） 化学（CH）	
農業	食品・飲料・タバコ 農産品 製紙・林業	食品・飲料・タバコ（FB）	製紙・林業
一般	セクター別質問書に該当しない全ての企業	セクター別質問書に該当しない全ての企業	セクター別質問書に該当しない全ての企業

- 2018年は売上ベースでCDP側で分類した部門の質問書が送付されます。
- 各一般及びセクター質問書には個別の評価方法が採用されます。
- 複数セクターで対象となる企業は、プライマリセクターのみが評価対象となります。

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

一般質問書のモジュール構成

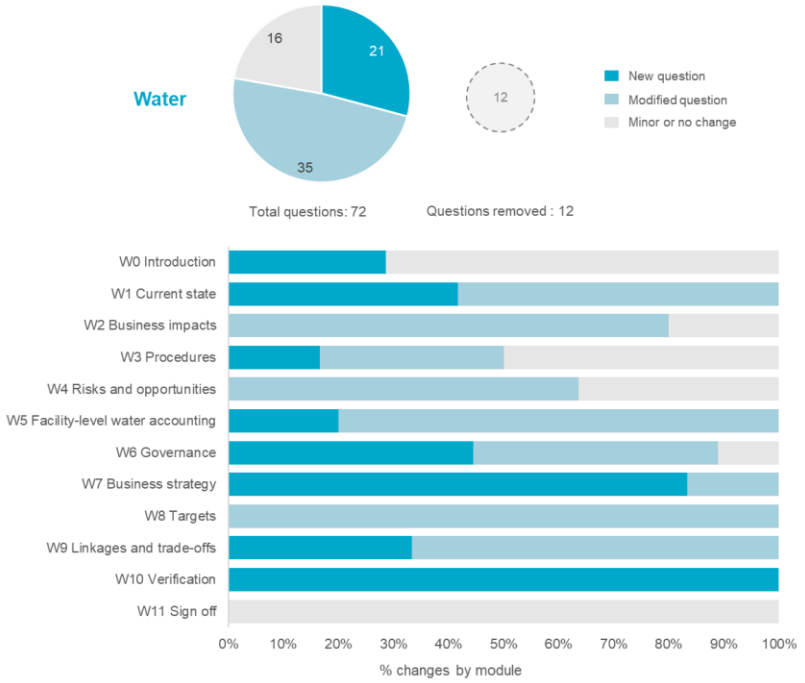
2017 モジュール	2018 モジュール
W0. イントロダクション	**W0** Introduction/イントロダクション
W1. 背景	**W1** Current state/現状
W2. 手順及び要件	**W2** Business impacts/事業影響
W3. 水リスク	**W3** Procedures/手順
W4. 水に関連する機会	**W4** Risks and opportunities/リスクと機会
W5. 施設レベルの水データ	**W5** Facility-level water accounting/施設レベルの水データ
W6. ガバナンス及び戦略	**W6** Governance/ガバナンス
W7. コンプライアンス	**W7** Business strategy/事業戦略
W8. 目標及びイニシアチブ	**W8** Targets/目標
W9. 相関･トレードオフ関係	**W9** Linkages and trade offs/相関・トレードオフ関係
	W10 Verification/検証（新）
W10. 承認	**W11** Signoff /承認

2017年度質問書からの変更

- 2017年の設問中およそ**70%が**
  - 変更なし
  - 微修正
  - 修正

- 新規設問‥**21**

- 2017年度から削除‥**12**



一般質問書のモジュール構成

2018 モジュール	主な内容
W0 イントロダクション	会社の概要、報告年、通貨、バウンダリ
W1 現状	水の依存度、水のアカウンティング（水のモニタリングの割合、取水量・排水量・消費量の合計値、水ストレスの大きい水域での取水量、リサイクル・再生水の割合）、バリューチェーンでの協働
W2 事業影響	報告年における水による事業への影響、水規制違反により受けた罰則
W3 手順	水リスクの評価方法の手順・考慮される要素
W4 リスクと機会	水リスクのある施設数・内容等、水関連リスクと対応、水によりもたらされる機会
W5 施設レベルの水データ	施設レベルの水に関するデータ
W6 ガバナンス	水関連方針、マネジメントの責任、政策への関与と整合
W7 事業戦略	事業計画、設備投資費/操業費、シナリオ分析、ウォータープライシング
W8 目標	水関連目標と達成に向けた進捗
W9 相関・トレードオフ関係	水関連事項と、他環境問題の相関性とトレードオフ
W10 検証（新）	水情報に関する外部検証
W11 承認	回答承認者の情報

2017>2018の変更概要

リスクを有する施設の地理的データ
Geolocation data for facilities at risk

ガバナンス:ガバナンスの仕組みと政策影響
Governance: governance mechanisms and policy influence

事業戦略:事業計画、シナリオ分析、水の内部価格
Business Strategy: strategic plans, scenario analysis, internal water pricing

ターゲットとゴール:策定へのアプローチ
Targets and goals: approach to setting

2017>2018の変更概要

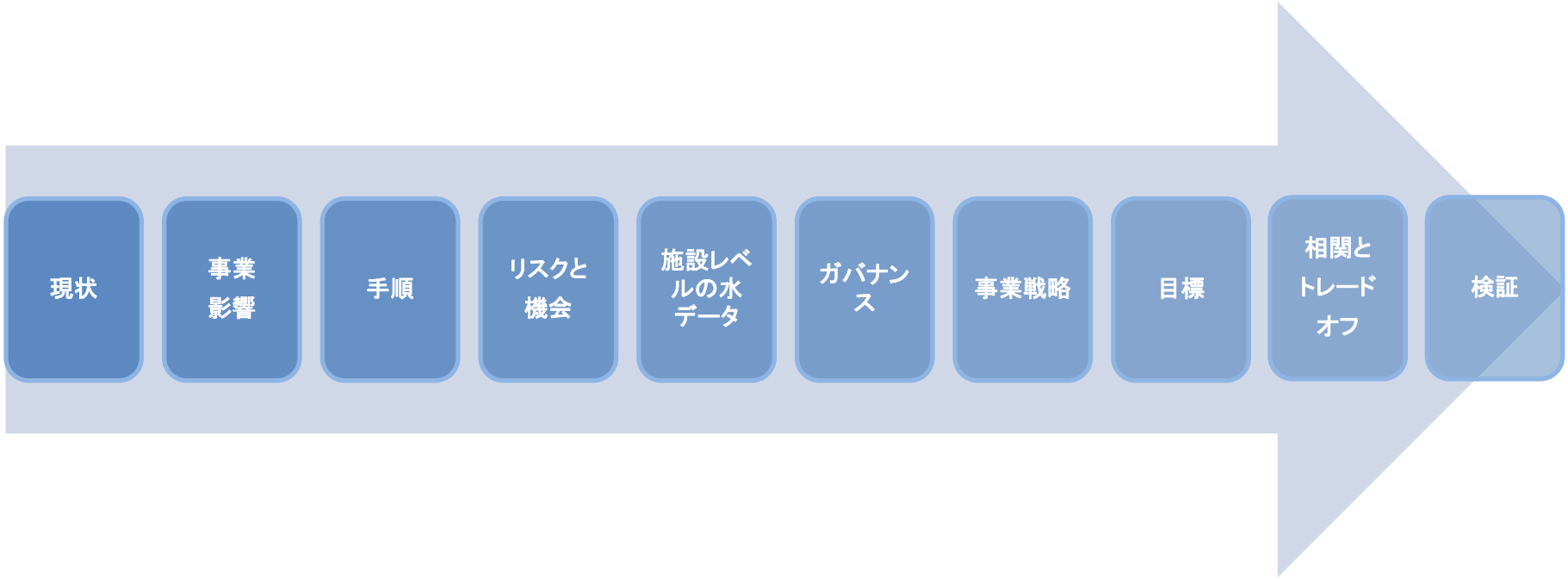
長期的な焦点と財務情報
Forward-looking focus and financial information

サプライチェーンから、より大きなバリューチェーンという枠組みへ
From supply chain to value chain

水データ：ウォーターストレス地域からの取水、リサイクル、リユース
Water accounting: withdrawals from stressed basins; recycling/reuse

リスクの情報開示：直接操業およびバリューチェーンにおけるリスク要因
Risk disclosure tables: risk drivers in direct operations and rest of value chain

ウォーター質問書とウォータースチュワードシップ向上のステップ



W0 Introduction／イントロダクション

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W0.1 企業概要

W0.2 データの報告年の開始日と終了日の記入

W0.3 データを提供する国を選択（新設問）

W0.4 すべての財務情報に使用される通貨を選択（新設問）

W0.5 水に関連する影響の報告対象とした会社、事業体、またはグループの報告範囲（バウンダリ）として該当するものを選択

- 財務支配力（financial control）を有している会社、事業体またはグループ
- 経営支配力（operational control）を有している会社、事業体またはグループ
- 株式を保有している会社、事業体またはグループ
- その他

W0.6/0.6a バウンダリの除外

W1 Current state／現状

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W1.1貴社事業の成功にとって、水の質と量はどの程度重要ですか？（現在および将来の）重要度をお答えください。

⇒直接利用、間接利用のそれぞれで重要度を評価

W1.1の直接利用での重要度を“どちらでもない”“重要”“操業に不可欠”と回答の場合

W1.2 事業全体の水の各側面について、定期的に測定・モニタリングする割合

W1.2b 事業全体での取水、排水、水消費の各総量、及び前年度との比較

測定、モニタリングするデータポイントに応じ、続く設問で其々の詳細データを回答

取水-水ストレス地域からの取水量＞W1.2d（新設問）
取水-水源別取水量 ＞W1.2h
排水-放流先別排水量＞W1.2i
リサイクル水/再利用水＞W1.2j（新設問）

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W1 Current state／現状

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W1.1の間接利用での重要度を“どちらでもない”“重要”“操業に不可欠”と回答の場合

W1.4　水関連問題に関するバリューチェーン上での協働の有無（新設問）

- はい、サプライヤーとの協働があります
- はい、顧客または他のバリューチェーンパートナーとの協働があります
- いいえ、しかし今後2年以内に予定しています
- いいえ、水についてバリューチェーンとの協働はありません

協働するステークホルダーに応じ続く設問でその詳細を回答
協働のない場合は、その背景と今後の計画について回答

-サプライヤーとの協働＞W1.4a、1.4b（新設問）
-顧客または他のバリューチェーンパートナーとの協働＞W1.4c（新設問）

-協働なし（計画もなし）＞W1.4d

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W2 Business impacts／事業影響

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W2.1 有害な水関連の影響がありましたか？

Yesの場合W2.1aで詳細を回答

- 国
- 流域
- 影響要因の種別
- 主要な影響要因
- 主要な影響
- 影響の詳細
- 主要な対応
- 財務影響
- 対応の詳細

W2.2報告年度に、水関連規制違反に対する罰金、執行命令、その他罰則の対象となりましたか？

Yesの場合W2.2a、2.2bで詳細を回答

W2の主な変更点（2017>2018)

・財務影響の数値の記載　・罰金の総額を記載

・報告年度における“事象”ではなく、“罰則”について質問

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W3 Procedures／手順

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

（W3.1/3.2はセクター質問）

W3.3　水関連リスク評価の実施がありますか？

Yesの場合、続く質問で詳細を回答

Noの場合3.3eでリスク評価を実施しない理由を説明

W3.3a水リスク特定と評価の手続きの詳細

W3.3b 水関連のリスク評価で、考慮されるものを選択

- 流域/集水域における水の利用可能性
- 流域/集水域における水質
- 河川流域/集水地における水資源に関連したステークホルダー間対立
- 主要商品/原材料に対して水がもつ意味
- 水関連規制枠組み
- 生態系および動植物生息環境の状態
- 全従業員が、適正に機能し安全に管理された衛生施設を利用できること
- その他

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W3 Procedures／手順

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W3.3c 水関連リスク評価では、考慮されるステークホルダーを選択

W3.3d 直接操業およびバリューチェーンにおける水関連リスクの特定、評価、それへの対応に用いているプロセスを具体的に説明（新設問、記述式回答）

回答には以下のポイントを含めて、企業に特化した内容を記載してください。
- 使用された主なツールと選択の根拠
- ツールの適用の詳細（対象範囲、どのように適用されたか）
- リスク対応の意思決定プロセスの説明
- 適用されるタイムスケール

W3の主な変更点（2017>2018)
- ・バリューチェーン（直接操業、サプライチェーン、その他）について質問
- ・リスク評価の詳細について質問
- ・プロセスの詳細について質問

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W4 Risks and opportunities／リスクと機会

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W4.1 事業に財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性のある水関連リスクを特定したことがありますか？

W4.1a 財務または戦略面での実質的影響をどのように定義するか（記述）

W4.1がYesの場合W4.1b/4.1cで詳細を回答

W4.1b 水関連リスクをもつ施設数とその割合

W4.1c 水関連リスクをもつ施設数とその割合（河川流域毎）と、事業への潜在的影響の詳細

- 国
- 河川流域
- リスクにさらされる施設数
- 全施設に対する比率 (%)
- 世界全体での総収入に対し、潜在的に影響する比率 (%)
- コメント

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W4 Risks & opportunities／リスクと機会

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W4.1で「直接操業とバリューチェーンで」または「直接操業で」リスクを特定した場合

W4.2 特定されたリスクと、それへの対応についての詳細の説明

- 国
- 河川流域
- リスクのタイプ
- リスク要因
- 主な潜在的影響
- 企業に特化した説明
- 期間
- 潜在的影響の大きさ
- 顕在化の可能性
- 潜在的財務影響
- 財務影響の説明
- リスクへの主な対応
- 対応の詳細
- 対応のコスト
- 対応のコストの説明

W4.1で「直接操業とバリューチェーンで」または「直接操業以外のバリューチェーンで」リスクを特定した場合

W4.2a 直接操業以外のバリューチェーンで特定したリスクの詳細とその対応

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W4 Risks & opportunities／リスクと機会

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

リスクが特定されなかったスコープについては、なぜ特定されなかったかの背景の回答が求められます。

W4.1で「No」（リスクの特定なし）または「直接操業以外のバリューチェーンで」リスクを特定した場合

W4.2b 直接操業において水リスクがないと考える理由

主な理由	詳細の説明
・リスクは存在するが、予想される実質的な影響はない ・評価を実施中 ・評価の未実施 ・その他	記述

W4.1で「No」（リスクの特定なし）または「直接操業で」リスクを特定した場合

W4.2c 直接操業以外のバリューチェーンで、水リスクがないと考える理由

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W5 Facility-level water accounting／施設レベルの水データ

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W5.1 W4.1cで挙げた各施設について、地理座標、水データ、前報告年との比較について回答

W5,1a 水源ごとの取水データ

W5,1b 放流先別の排水量

W5,1c リサイクルまたは再利用されている総水使用量と比率 前報告年比（新設問）

施設番号	施設名	リサイクル/再利用比率(%)	全報告年度との比較	詳細
番号選択	記述	割合の選択	増減とその程度の選択	記述

W5,1d 各施設について、外部の検証を受けている水データとその比率

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W6 Governance／ガバナンス

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W6.1 水に関する企業方針がありますか？

Yesの場合W6.1aで詳細を回答

W6.2 水関連問題について取締役会レベルの監督がありますか？

Yesの場合W6.2a、6.2bで詳細を回答

Noの場合W6.2cで監督のない背景と将来の計画について回答

W6.3 取締役会よりも下位のレベルで、水関連問題に責任を負う最上位の管理職または委員会について説明してください。

（W6.4はセクター質問）

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W6 Governance／ガバナンス

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W6.5 水に関する公共政策に直接的/間接的に影響を及ぼしうる活動に関与していますか？（新設問）

- はい、政策立案者との直接的協働を通じて
- はい、業界団体を通じて
- はい、研究組織への資金提供を通じて
- はい、その他を通じて
- いいえ

「はい」の場合W6.5aで詳細を回答

W6.5a　公共政策に影響を及ぼす直接的・間接的活動のすべてを、水に関する御社方針/コミットメントに合致させるプロセス（新設問、記述）

以下を記述に含めるようにしてください。

- 一貫性を保証するプロセスの明確な説明
- 不一致がある場合の対応に関する説明

W7 Business strategy／事業戦略

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W7の主な変更点（2017>2018)
・シナリオ分析についての新規設問
・水の内部価格（ウォータープライシング）の設定の有無についての新規設問

W7.1 水関連問題が、長期的・戦略的事業計画に組み込まれているか、またそれがどのように組み込まれているか？（新設問）

（回答欄）

戦略的事業計画の側面	組込みの有無	期間	詳細
長期的事業目標	・はい、組み込まれています。 ・いいえ、水関連の問題はレビューされましたが、戦略的に重要であるとはみなされませんでした。 ・いいえ、まだレビューされていませんが、今後2年以内に実施予定です。 ・いいえ、レビューされておらず、予定もありません	5-10 11-15 16-20 21-30 > 30	記述（選択肢でNoを選ぶ場合にはその背景も記載）
長期的事業目標達成のための戦略			
財務目標			

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W7 Business strategy／事業戦略

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W7.2 水関連の設備投資費（CAPEX）と操業費（OPEX）の報告年度、次年度の傾向について

※この設問の目的は、事業における水の価値（水に対する支払額のみではない）に関する戦略的理解の向上です。水関連コストの傾向の把握が、潜在的なコストやリスクを理解するのに役立ちます。

W7.3 気候関連シナリオ分析情報の事業計画への利用有無（新設問）

Yesの場合W7.3aに回答

W7.3a シナリオ分析で水関連の分析結果が確認されましたか？

Yesの場合W7.3bに回答

W7.3b 分析結果の詳細と、それへの対応

W7.4 水に対する内部的価格付け（ウォータープライシング）の有無（新設問）

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W8 Targets／目標

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W8.1水関連の目標や目的を、どのように設定・モニタリングしているかについて説明してください。

全社レベルで“目標（Target)をモニタリングしている”場合⇒W8.1aで詳細を回答

- 目標の種類
- 目標が対象とする範囲
- 主要な動機
- 目標の詳細
- 定量的測定基準
- 基準年
- 開始年
- 目標年
- 達成の進捗（%)
- 詳細

全社レベルで“目的（Goal)をモニタリングしている”場合⇒W8.1bで詳細を回答

“目標（Target)や目的（Goal)を設定していない”場合⇒W8.1c

W8.1c水関連の目標(Target)や目的(Goal)がない理由、また今後の計画は？

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W9 Linkages and tradeoffs／相関・トレードオフ関係

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W9.1貴社では、直接操業やバリューチェーンにおいて、水とその他の環境問題との間の相関関係またはトレードオフ関係を確認していますか？

Yesの場合W9.1aで詳細を回答

Noの場合W9.1bで詳細を回答（新設問）

（回答欄）

W9.1a

相関か トレードオフか	相関性・トレードオフの種類	詳細	管理方針 または対応策
相関 トレードオフ	選択肢	記述	記述

相関性
- エネルギー効率の向上
- エネルギー使用量の削減
- 生物多様性の向上
- 環境修復
- 温室効果ガス排出量の削減
- 排水処理の削減
- その他

トレードオフ
- エネルギー効率の低下
- エネルギー使用量の増加
- 生物多様性の低下
- 温室効果ガス排出量の増加
- ダスト発生増加
- 排水処理の増加
- その他

・企業に特化した説明
・企業や環境に対する定量的影響量
・管理方法の詳細

・企業に特化した説明
・企業や環境に対する定量的影響量
・管理方法の詳細

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

W10 Verification／検証（新）

2018 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 相関・トレードオフ関係
W10 検証（新）
W11 承認

W10.1 CDPで情報開示するその他の水関連情報について外部検証をうけていますか（W5.1dで回答したものを除く）？（新設問）

Yesの場合W10.1aで詳細を回答

F10.1a 検証したのは、CDP情報開示におけるどのデータですか？
また、どのような検証基準を用いましたか？（新設問）

（回答欄）

開示モジュール	検証データ	検証基準	詳細
選択 W0 Introduction W1 Current state W2 Business impacts ・・・W8 Targets	記述	選択 AA1000AS ASAE3000 ・・・など	記述

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

その他:

- 企業に特化した（Company-specific）回答が求められる場合
同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、自社の具体的な活動・製品／サービスについて記載してください。

- ケーススタディの記載では以下のポイントを押さえて回答してください。

1) 状況: 現状や背景はどのようなものか
2) 課題: 何をしなければならないのか／解決すべき課題は何か
3) 行動: 実施した一連の行動はどのようなものか
4) 結果: 行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか

- 回答で「該当なし」や「不明」を選択する場合、できるだけコメント欄に“なぜそうであるか”の背景をご回答ください。

ご清聴ありがとうございました。

CDP
DISCLOSURE INSIGHT ACTION